

個人投資家の皆様へ 会社説明会

第一実業株式会社（証券コード：8059）

2026年8月22日【東京】

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、
実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。



目次

01 会社概要

02 事業概要

03 成長戦略

04 業績予想

05 株主還元



01 会社概要

数字でみる第一実業

創業

78年

創立 1948年

従業員数（連結）

約 1,600 名

技術者数（連結）

約 500 名

取引企業数

得意先 約 3,600 社

仕入先 約 5,600 社

売上高（連結）

219,140 百万円

*2026年3月期

長期発行体格付け

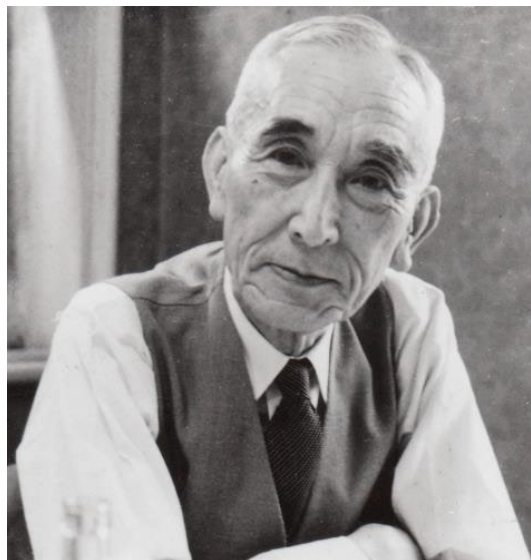
A⁻（安定的）

株式会社日本格付研究所 (JCR)

*2025年9月2日



第一実業



初代社長 倉持正次郎

創業の精神

第一実業株式会社は、商事会社として経済社会の流通機構の一翼を担い、以て社会の繁栄に寄与することを目的として協力一致して積極的に活動し、堅実に運営して企業を安定成長せしめ、此処に働く人々の生活の向上幸福の増進を図る。

創業時の事業方針

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大手企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

協力一致
堅実運営
積極活動

第一実業のあゆみ 進化する産業機械サプライヤー

事業領域の拡大

1952年



石油・石油精製
製紙業界を開拓

1959年



プラスチック業界

1964年



自動車業界

1979年



医薬業界

1982年



エレクトロニクス業界 航空業界

1989年



2006年



二次電池分野

事業エリアの拡大

米州エリア

1972年



DAIICHI JITSUGYO
(AMERICA), INC.

中国エリア

1997年



上海一実貿易有限公司

アジアエリア

2005年



DAIICHI JITSUGYO ASIA

欧州エリア

2008年



DJK Europe GmbH

インドエリア

2018年



DAIICHI JITSUGYO INDIA

*2025年 NITTOKU（株）と合併会社設立

グループ会社の拡大

第一メカテック



産業用各種機械器具
の修理・製造・販売

第一実業ビスウィル



医薬品および電子部品外
観検査システムの開発・
製造・販売

DJ-WAVEエンジニアリング



環境設備及びプロセスシ
ミュレーションを活用し
たエンジニアリング

第一スルザー株式会社



産業用ポンプ、攪拌機
及び関連機器の輸入販売

株式会社浅野研究所



プラスチック真空成形機
の製造・販売



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2026

海外ネットワーク

海外18カ国36拠点を事業を展開しています。

欧州エリア 4 拠点

・フランクフルト・プラハ・ブダペスト・ソフィア



中国エリア 8 拠点



China

・上海・天津・蘇州・武漢
・広州・深圳・香港・台北



Taiwan

米州エリア 10 拠点

・シカゴ・ヒューストン・オースティン・ノックスビル・ケンタッキー
・ケタロ・モンテレイ・レオン・サンパウロ・トロント



USA



Mexico



Brazil



Canada



India

インドエリア 3 拠点

・ニューデリー・バンガロール・アーメダバード

テクニカルセンター ★ニューデリー

アジアエリア 11 拠点

・シンガポール・クアラルンプール・ジョホールバル・ペナン・バンコク
・ジャカルタ・ハノイ・ホーチミン・マニラ・ラグナ・ソウル

テクニカルセンター ★バンコク ★ハノイ ★ラグナ ★ソウル



Singapore



Malaysia



Thailand



Indonesia



Vietnam



Philippines

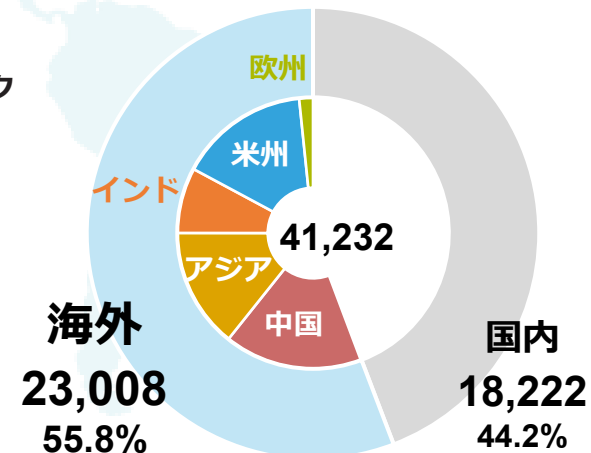


Korea

海外売上高比率

(仕向け先ベース)

2027年3月期 第1四半期 (単位: 百万円)



次世代型エンジニアリング商社

現場力

モノづくり現場に
精通した営業が
最適設備を提案



技術力

多様な知見と経験で
複合的なエンジニア
リング機能を提供



国際物流機能

物流専門部署による
国際物流の効率化と
高度なリスク管理



グローバルネットワーク

18カ国36拠点の
海外ネットワークで
お客様をサポート



常に「時代の一步先を行くモノづくりパートナー」を目指し進化します

DJKのエンジニアリング機能の強み

世界中でモノづくりを迅速に立ち上げ、確かな品質を届けるエンジニアリング体制

01

500名の技術者集団

専門性の高い技術者集団

専門性



グループ会社



02

高度な知見

専門性を生かした課題解決能力

各セグメントに特化した技術者

・生産現場に精通した技術者が
お客様の本質的なニーズに的確に対応



03

独自のエンジニアリング機能

次世代型エンジニアリング商社

現場力と技術力

・設備納入だけでなく、生産性向上、品質改善など
製造現場の「結果」にコミットする技術サービス

トータルサポート

・EPCからメンテナンス、保全、
稼働後の生産改善支援まで一括サポート

グローバル対応力

・国内海外問わず、現地エンジニアによる
高度な技術サポート

プロジェクトマネジメント機能

・当社のプロジェクトマネージャーによる
大型かつ高度なプロジェクト案件の取りまとめと遂行

2026年度はエンジニアリング案件の売上高比率 約20%
成長戦略「V2030」に向けては50%を目指し、エンジニアリング力の強化を推進

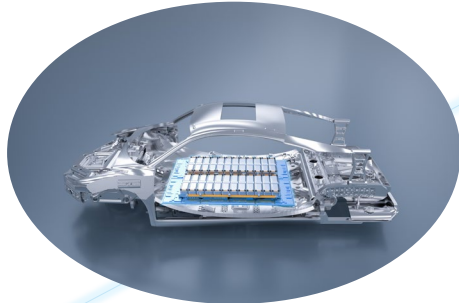
02 事業概要

事業内容

幅広い産業に事業を展開し、安定経営を継続

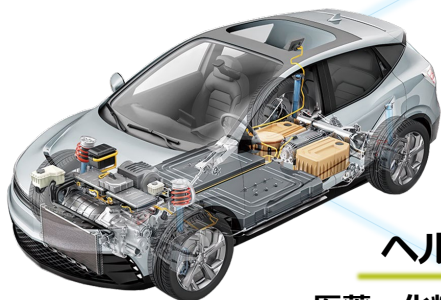
エネルギーソリューションズ

二次電池



自動車

車体内外装・駆動部品



ヘルスケア

医薬・化粧品・健康食品



航空・インフラ

空港地上支援機材



エレクトロニクス

電子基板・半導体



産業機械

樹脂成形・塗装・医療



プラント・エネルギー

石油・化学・再生可能エネルギー



7 事業

重点領域

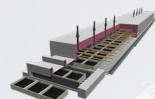
基盤領域

重点領域

エネルギーソリューションズ

リチウムイオン・バッテリー生産における各工程の機器を提供

製造工程の上流から下流までのトータルソリューションを提供しています



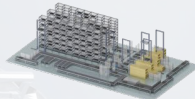
材料関連装置



電極製造装置



セル製造装置



検査装置

成長期待

- ・EV向け車載用電池の製造ライン
- ・データセンター向け蓄電池
- ・電池製造の全工程一括ライン

ヘルスケア

世界中の企業における生産性と品質を飛躍的に高めることにより、人々の健康に貢献すること



viswill

錠剤外観検査システム
錠剤印刷検査システム



各種医薬品包装機

当社エンジニアが理想の
製造ラインの構想設計を実施

導入から廃棄まで寄り添う
アフターサービス・ポリシー

ターンキー
エンジニアリング

成長期待

- ・顧客の生産能力増強継続、業界再編による機会創出
- ・既存ライン老朽化に伴う更新テーマ
- ・液剤製造一貫ラインへの取り組み

自動車

人と技術を繋ぎ「革新的なモノ作り」の提案を通じて「車社会の進化」へ貢献する！



車体・内外装領域



パワートレイン領域



自動運転・安全領域



成長期待

- ・インド二輪安全規格強化によるABS関連装置
- ・自動運転・先進運転支援システム用自動組立ライン
- ・自動組立装置や外観検査装置のグローバル販売

航空・インフラ

交通インフラを最先端のノウハウで支える



牽引車
(トラクター)



防除氷車
(デアイサー)



コンテナローダー



特殊救護車 (スーパーアンビュランス)



部品供給



オーバーホール



グリコール回収車



空港用除雪車



摩擦係数測定車



パッセンジャーステップ



指揮系統車
(コマンドカー)



技術・操作トレーニング



組立

空港・航空分野

防災・防衛分野

CS (保守点検・修理・部品)



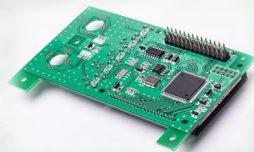
成長期待

- ・新ビジネス (メンテナンス付リース)
- ・社会インフラ向け特殊車両を共同開発

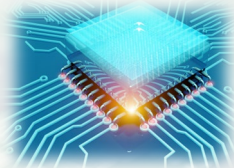
基盤領域

エレクトロニクス

最先端技術と経験でモノづくりプロセスの改革をもたらすソリューション



表面実装 (SMT)



半導体・電子部品



物流自動化ソリューション
「LOGITO」



組立・自動機



- ・ AIサーバー向け実装機
- ・ AIチップ用パッケージ基板・半導体後工程設備
- ・ 中国・アジア市場向けの需要の取り込み

産業機械 設備のコーディネートによるさらなる最適化を実現



樹脂成形機



塗装システム



育苗
(イチゴ苗)



真空成形機

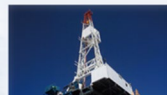


組立・自動化



- ・ AIサーバー向け冷却ソリューション
- ・ 塗装関連でライン案件の取り込み
- ・ 医療機器関連組立装置の積極提案

プラント・エネルギー 豊富な知見と新たな視点で基幹産業を支える



エネルギー資源業界



製油所



石油化学・化学工場



燃料(石炭・天然ガス)



金属類(鉄・アルミ・レアメタル)



発電所



森林/植林



製紙



- ・ 燃料電池を活用した
オンサイト型発電ソリューション
- ・ 油種の切り替え等に伴う
設備改造需要の取り込み

日本政府の重点17領域中12領域をカバー



当社の7セグメントは国家成長戦略の重点領域のうち12領域をカバーし、中長期的な成長機会を着実に取り込む事業基盤を有しています。

AI・半導体

生成AI・ロボット開発加速、
国産半導体サプライチェーン強化



造船

造船再生ロードマップで生産能力
拡大、船舶部品を重要物資指定



株式会社第一メカテック

合成生物学・バイオ

バイオ素材・再生医療設備投資、
人材育成支援



航空・宇宙

次期航空機・衛星コンステレーション
整備、サプライチェーン強靱化



フードテック

スマート農業・植物工場投資、
代替タンパク開発



資源・GX エネルギー安全保障

次世代炉・再エネ・
レアアース開発実証



防災・国土強靱化

インフラ更新・
災害リスク評価投資



創薬・先端医療

新薬創出・再生医療・
ゲノム医療支援



マテリアル（重要鉱物）

レアメタル備蓄・
リサイクルサプライチェーン強化



防衛産業

防衛費GDP2%前倒し、
デュアルユース技術育成



情報通信

オール光ネットワーク・
データセンター分散



海洋

海洋資源開発・無人探査機実証

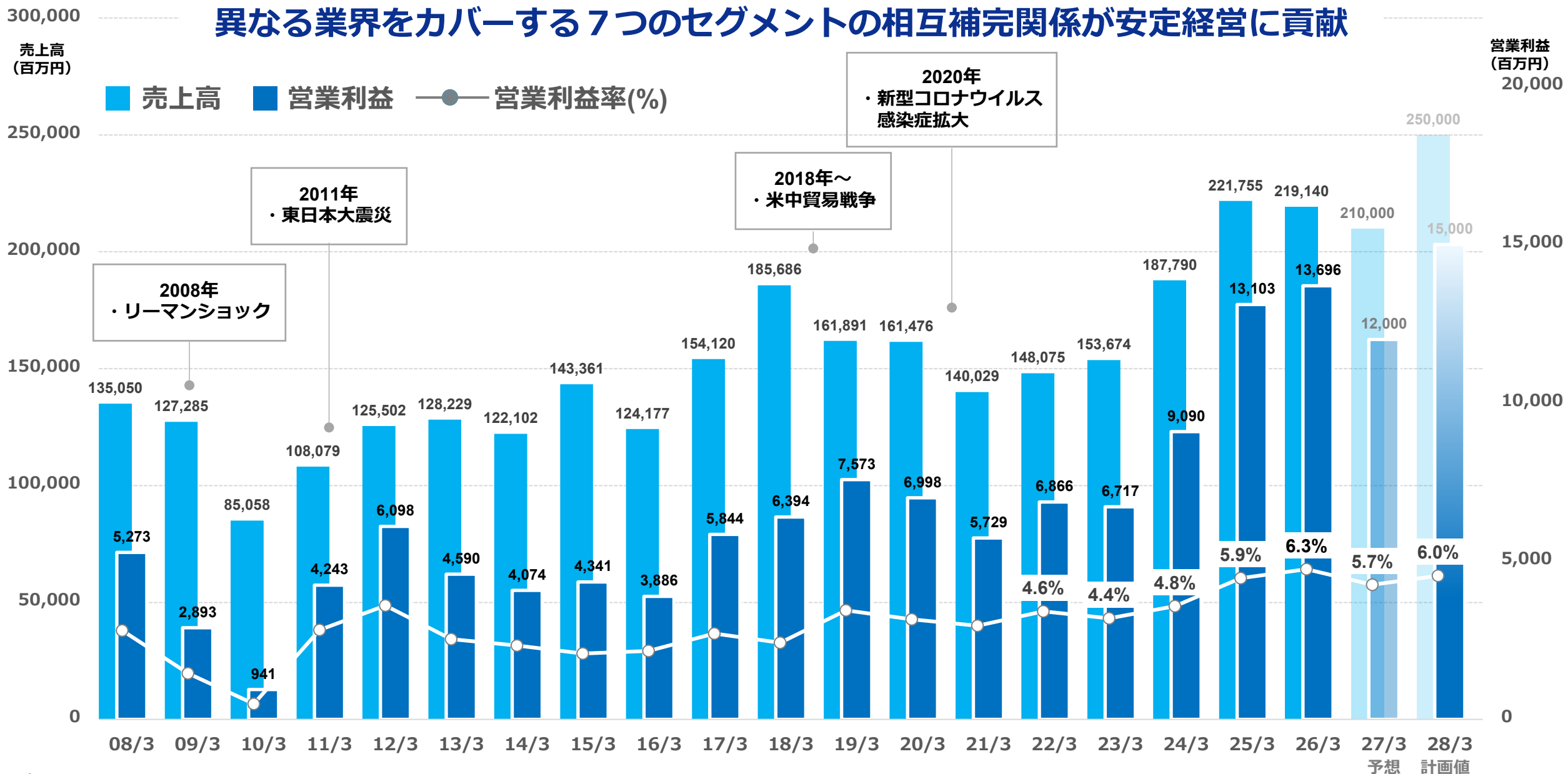


その他：量子、コンテンツ（アニメ・ゲーム）、デジタル・サイバーセキュリティ、フュージョンエネルギー、港湾ロジスティクス

03 成長戦略

連結業績の推移

異なる業界をカバーする7つのセグメントの相互補完関係が安定経営に貢献



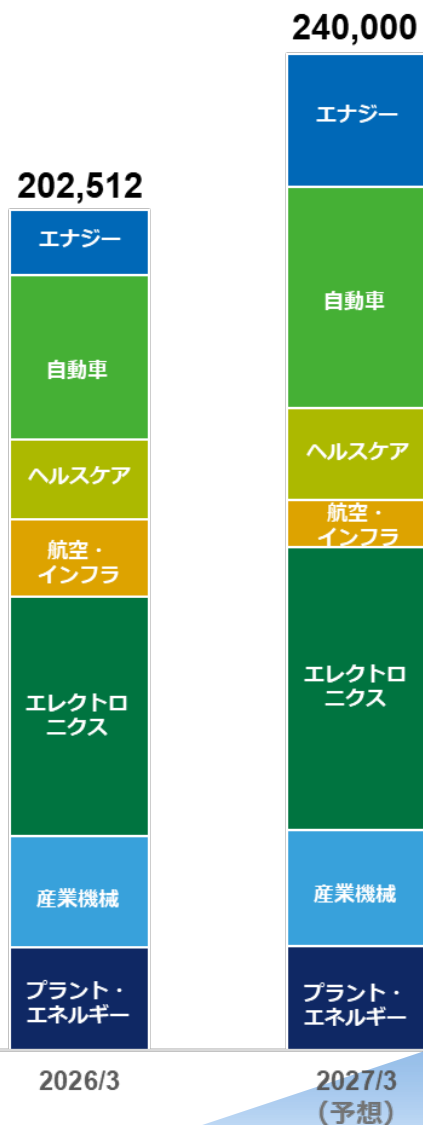
DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2026

← MT2024 → ← MT2027 →

成長戦略と中期経営計画

受注高



受注面でのトピックス

⚡ エナジーソリューションズ

- ・EV向け車載用電池の製造ライン
- ・データセンター向け定置用蓄電池
- ・電池製造の全工程一括ライン

🚗 自動車

- ・インド二輪安全規格強化によるABS関連装置
- ・自動運転・先進運転支援システム用自動組立ライン
- ・自動組立装置や外観検査装置のグローバル販売

🧑‍🔬 エレクトロニクス

- ・AIサーバー向け実装機
- ・AIチップ用パッケージ基板・半導体後工程設備
- ・中国・アジア市場向けの需要の取り込み

売上高
2,500億円
営業利益
150億円

* 2028年3月期（3年目計画値）

MT2027

売上高
3,000億円
営業利益
180億円

* 2031年3月期 目標値

V2030

投資の重点ポイント

💊 ヘルスケア

医薬品製造ラインのサプライチェーン強化
化粧品、健康食品、バイオへのエンジニアリング強化

✈️ 航空・インフラ

成長が見込まれるインフラ分野への投資

AIデータセンター需要を捉える当社の取り組み

生成AIの普及に伴う世界的なAIデータセンター投資の拡大を背景に、当社でも関連ビジネス拡大中。
装置営業力とエンジニアリング機能への期待から、複数のセグメント、多数の顧客層にわたり広範囲に引き合いは増加中。
2027年3月期の当該受注高は、200億円以上（前年度実績比3倍超）を見込む。

AI半導体・AIサーバー



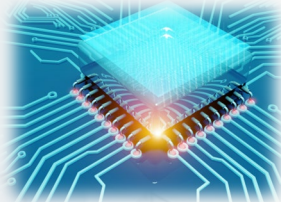
エレクトロニクス



産業機械



プラント・エネルギー



- ・ AIサーバー基板実装システム
- ・ AI半導体パッケージ基板製造装置
- ・ AI半導体後工程向け装置
- ・ MLCC検査システム
- ・ 半導体材料製造プラント
- ・ 物流自動化ソリューション「LOGITO」

電力・電源・設備



エネルギーソリューションズ



プラント・エネルギー



産業機械



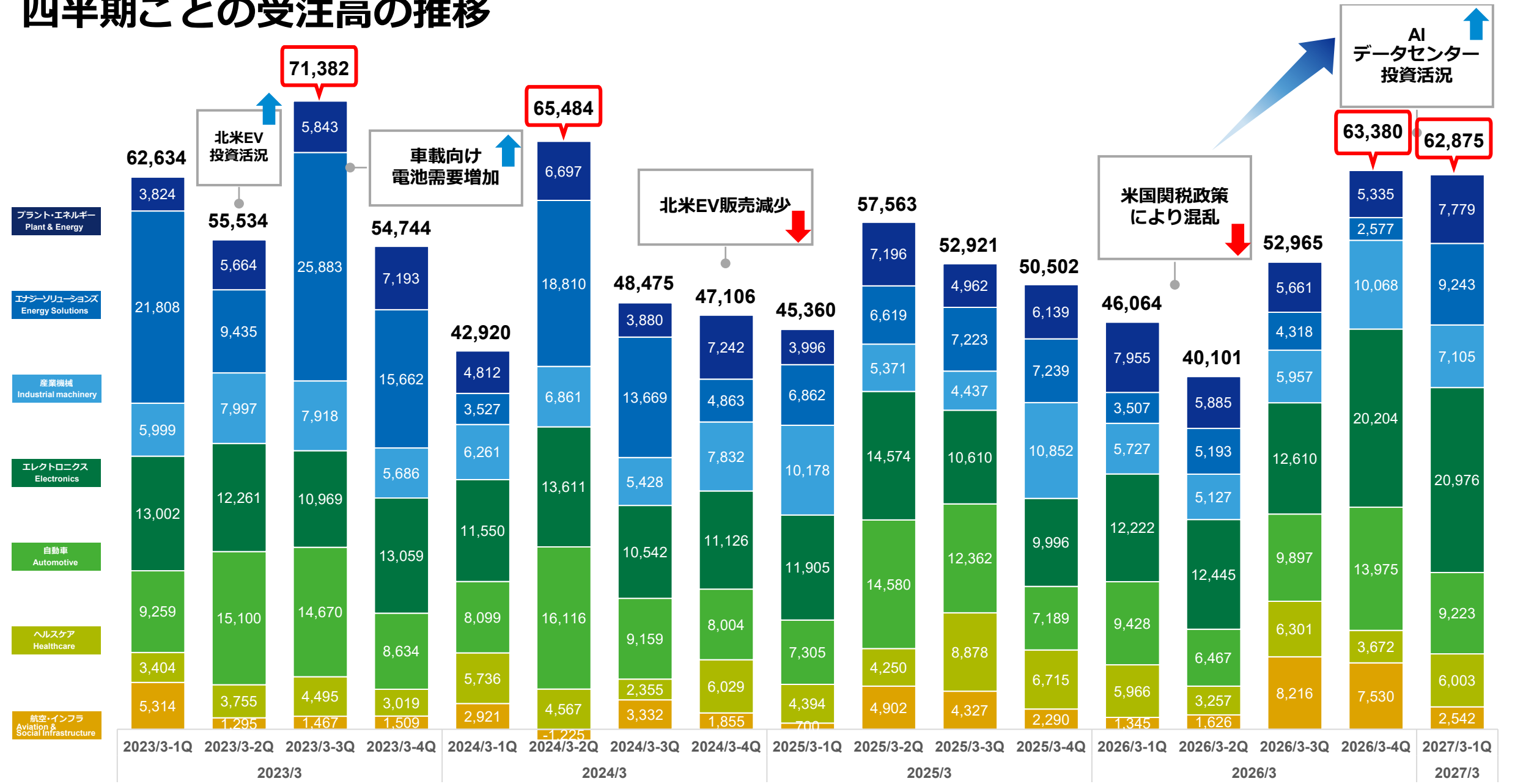
- ・ 都市ガス燃料電池(SOFC)
- ・ データセンター用蓄電池
- ・ LIB・燃料電池製造装置
- ・ DCリンク(直流蓄電システム)
- ・ CDU(冷却液分配装置)+配管・放熱制御
- ・ 排熱回収ハイブリッド冷却システム

04 業績予想

連結業績（2027年3月期 第1四半期）

単位：百万円	2026/3 (1Q)	2027/3 (1Q)	
	実績	実績	前期比
受注高	46,064	62,875	+ 36.5%
売上高	49,489	41,232	▲ 16.7%
営業利益	2,501	1,057	▲ 57.7%
経常利益	2,488	1,292	▲ 48.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,745	1,762	+ 0.9%

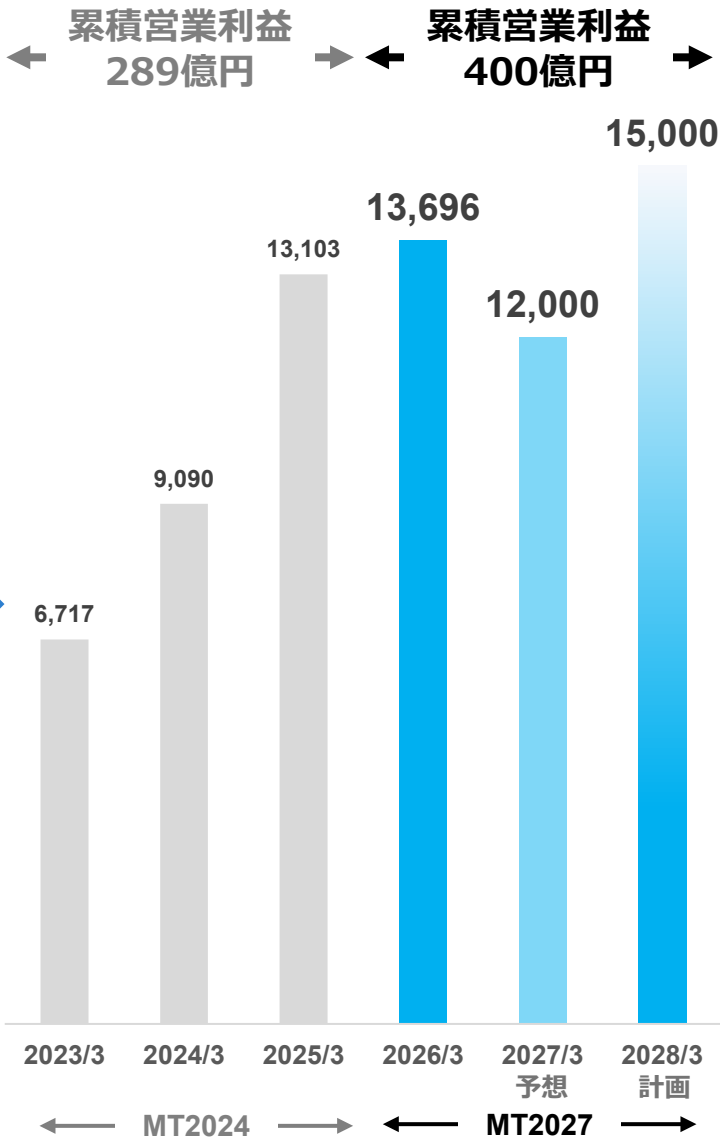
四半期ごとの受注高の推移



2027年3月期 通期業績予想

- ・「MT2027」 2年間合計営業利益 237億円（計画比103%）を予定
- ・ 3年間累計営業利益 400億円を目指す

営業利益の推移 単位：百万円



	2026/3	2027/3	2028/3
	実績	通期予想	MT2027 (3年目計画)
単位：百万円			
受注高	202,512	240,000	270,000
売上高	219,140	210,000	250,000
営業利益	13,696	12,000	15,000
経常利益	14,353	12,400	14,750
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,951	9,400	10,300
ROE	11.7%	10.2%	10%以上

05 株主還元

配当金・配当性向

配当方針

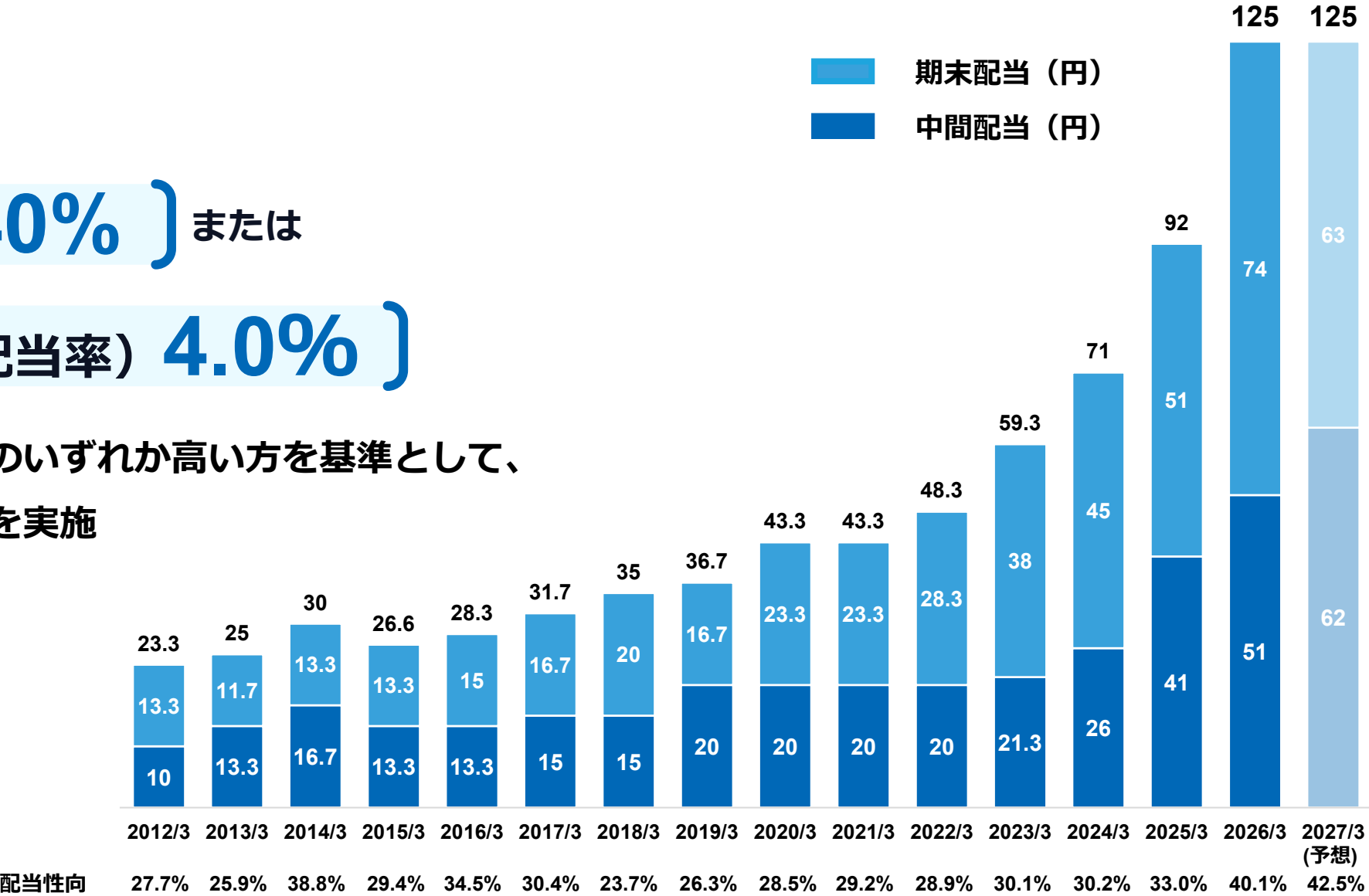
一株当たり年間配当金を

〔 連結配当性向 **40%** 〕 または

〔 DOE（株主資本配当率） **4.0%** 〕

の各基準で算出した金額のいずれか高い方を基準として、
継続的かつ安定的な配当を実施

■ 期末配当（円）
■ 中間配当（円）



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の年間配当金は株式分割考慮後の数値を記載しております。

株主還元 自己株式の取得・株主優待

自己株式の取得

取得方法	市場買付
取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	500,000 株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.6%
株式の取得価額の総額	20 億円（上限）
株式の取得期間	2026年5月13日～2026年9月30日
取得後の取り扱い	消却を予定

取得理由

① 資本構成の最適化

② 株主還元の充実

2026年7月31日までに取得した自己株式の累計

- (1) 取得した株式の総数 187,700株
- (2) 株式の取得価額の総額 583,918,400円

株主優待「第一実業・プレミアム優待倶楽部」

【制度新設の目的】

株主様への還元強化と魅力向上

投資魅力を高め、より多くの方に保有いただくため

株主基盤の拡大

長期保有株主の増大による株主基盤の拡大と株主構成の安定

【対象となる株主様】

2026年以降、毎年9月末日の当社株主名簿に記載又は
記録された100株（1 単位）以上保有の株主様

【優待制度の3つのポイント】

- ① 保有株数に応じたポイント進呈（2026年9月末基準より）
- ② 長期保有のメリット（ポイント繰越）
- ③ 5,000種類以上の商品から選べるポイント制

詳しくは、当社株主様限定
特設ウェブサイト「第一実業・プレミアム優待倶楽部」よりご確認ください。

<https://djk.premium-yutaiclub.jp>

Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

世界のモノづくりに、創造の翼を。

